

2007.12.08(土)~12.09(日)

ハケ岳

阿弥陀岳 北西稜登攀 南稜下降

佐藤英明、石原里志、松尾恵、塩見慶子、坂口光恵
五十嵐文彰(神田山の会)、長谷川泰敏(神田山の会)

テント装備担いで北西稜登って南稜下降を狙うか空身でおとなしく行者に降りるか、迷いましたが、正月の硫黄尾根の練習だし、ということでチョイと頑張りました。

<懸案1>

急峻でナイフリッジ状の狭い尾根上にテン場はあるのだろうか？

石原さんが尾根越えの小ルンゼに絶妙な平坦地を発見！7人で2時間かけて雪掻きと掘削工事を施して、5人テン×2張(ギリギリの)スペースを確保。

快適でしたが、トイレに出たりして滑ったら谷底まで一気に行ってしまうこと間違いなしのスリリングなテン場でした。諏訪湖の夜景が綺麗でした。

テントの入り口どうしをくっつけて宴会。光恵さんが「今日は私の誕生日ーっ！」って騒ぐので、好物の柿の種をプレゼントする。塩見さんの火鍋と松尾さんのつみれ鍋の交換も美味しかった。

<懸案2>

7人の大所帯で、しかも、もしかしたらハケ岳で一番メンドクサイ北西稜を登って、バリエーションの南稜を7人懸垂タラタラで時間的に大丈夫だろうか？

深夜から吹雪になって、乾燥雪崩すら発生する。そこそこに寒い。すっかり敗退気分になる。

3時半起床。這松と石楠花の密敷に苛められる。次いで腰までのラッセルに苦しめられる。今なら未だ敗退できる・・・。

頭上に粉雪を纏った巨大な岩塔が聳える。あんなのに登るのやだ。積極的に見ないようにする。

最終ピッチに7人で2時間かかる。しかし、良い子の早寝早起きが功を奏してか？13時終了、13時半には阿弥陀の山頂に立ちました。

南稜は、3Pのルンゼを降りてしまえば、暗くなくても大丈夫、ということで躊躇なく突っ込む。予想どおり懸垂7人×約3ピッチに時間がかかり、舟山T(十じゃない)字路で18時半でした。

(0ピッチ)英明 45m

見た目に雪を纏った恐いナイフリッジだが、徒歩。

(1ピッチ)長谷川 +45m

左上の岩のリッジに上がる。ツルツルの一枚岩にアイゼンもバイルも効かず、恐ろしい思いをする。痩せたリッジ(両側絶壁)のピナクルでビレイ。

(2ピッチ)英明 50m

前のピッチが目一杯伸ばしてくれたので、通常2ピッチを1ピッチで済ます。第一岩峰の基部で切る。

(3ピッチ)英明 -50m

残置ハーケンが数箇所あるが、無意味なくらいランナウトする。ここも2ピッチに切る場合が多いが、人数が多い(時間を喰う)ので一気に伸ばす。

(4ピッチ)英明 40m

ピンの乏しい岩場を登って、左右とも断崖のナイフリッジの雪を払い払いシーハー登る。第二岩峰の基部で切る。

(5ピッチ)英明 30m

第二岩峰は左のバンドに入る。絶壁のヘリをのけぞるようにしてジリジリと進む。

(6ピッチ)英明 25m(A1)

核心のピッチ。抜け口は、エイダーの最上段に立って微ハングをフリーで越えなくてはならない。おっかねー。数名が宙吊りになってしまう。(へた)



ナイフリッジ



今回の北西稜～南稜はスバラシカッタ。

その1. アプローチ

僕が最初に入った川崎の会では、北西稜はいつも取り付き敗退。南沢を歩きたびに、どこだろう?と考えていました。今回は英明さんのおかげでダイレクトに露岩に突き当たり、そのまま稜線へ。どうもありがとうございました。

その2. テンバ

7人もの大所帯、4・5テンを2張も・・稜線じゃあやっぱ無理だよなえと思いきや、石原さんがルンゼに滑り込み、ピッケルで掘り始める。ここ掘り下げてテンバ作ろう!でも急斜面なので雪が下に落ちちゃう。枝を折って土手を築くという盛雪作戦。少し広くなった。それでもスペース不足。どんどん掘り下げたら、土やら木やら石が出てくる。普通ここであきらめるのだが、松尾さん、やおら木をピッケルで叩き切る!WAO!!でもって石を掘り出してどんどん広げる、という切土作戦も併用。おかげで立派なテンバができました。

その3. お酒とごはん

15年物の紹興酒とあったかお鍋が最高でした。隣のテントは火鍋。やっぱ冬は鍋が最高ですね。

その4. もちろん山もスバラシカッタ

北西稜はルートファインディングが難しい。ハーケンを雪で隠れちゃうので見つけにくい。横行って上行って・・・初めてだとなかなか大変。最後のアブミとガバで乗越しはフィナーレにふさわしい。なかなかドラマチックなルートです。下りの南稜は途中で暗くなったけど、シメくりとして充実感いっぱいでした。

北西稜はビバークと凍傷のメッカと聞いていたので、薄手の手袋とオーバー手袋の間にミニホカロンを付けてみました。そのおかげか登攀の間あまり手の冷たさを感じませんでした。

でも、なにより今回は天候が良く、八ヶ岳にしては気温が高かったように思います。助かりました。

核心部のあぶみの乗り越しで、荷物が重いのに雑な登り方をしてしまい、手がパンプしてしまいました。反省。

北西稜も南稜も初めてだったので登攀できて感動しました。

「阿弥陀岳北西稜」、恐ろしくて行きたくない!行けっこない!と思っていました。でも、これも、怖くて今からビビりまくってる正月山行「硫黄尾根」のトレーニングだ、と言うので仕方なく頑張ってみました。

第1岩峰のツルツルの一歩と最後のアブミからの一手が必死だったけど、メンバーが7人。仲間が多いということはなんだか安心感がありますね。

テン場が心配だったけど、「ここしか無い!」って所に張れました。北西稜では、ほんと、あそこしか無いです。4-5人テントが張れる所。でも、夜中にチリ雪崩が来たのにはヒヤヒヤしました。

そして、予定の「南稜下降」、摩利支天に抜け、時計を見ながら後続を待ちました。南稜下降には、13時がタイムリミットか?でも、さっき「黒稜」の2人が南稜から登ってきたのでトレースはある。「一般道、下ろうよ~!」と言う人、「御小屋尾根が無難だよ~」



藤坂ロックでアイゼントレ



第二岩峰の登攀

と言う人、でも、私は、本音、なんとしても南稜を下りたかった。

英明さんが「南稜だよー！」と言った時には「やったー！」と思いました。「北西稜」を登るだけでもスゴイことだと思うのに、下降に「南稜」。

帰りはヘロヘロだったけど、2度と出来ない充実した最高の山行でした。リーダーの英明さん、メンバーの皆さん、ありがとう！でも、「北西稜」2度と行きたくないです！

石原里志

1. 冬山を思い出した。

冬山を忘れていた。ハケ岳は寒い。「ハケ岳にしては暖かいほうですね」などと知ったようなことを言ったが、本当は結構、寒かった。雪もいっぱいあった。「装備に疑問」などとメールしたが、浅はかだった。

2. 寒いと思考能力が低下することを実感した。

「では確保をお願いします」と言われて壁にある支点に確保器をセットしようとしたら、「違う、ポディーだよ」と言われハットした。気をつけなくっちゃ。ヘルメットの湯たんぼ仕様はないだろうか。

3. 指が痺れた。

凍傷防止のため、水分補給を心がけ、やたらと雪を食い、手袋は絶対に濡らさないようにしたが、指先が3日たった今も痺れている。

大昔に負った凍傷により、やはり皮下組織は再生されていなく、如何ともしがたい。「だはこやめる」の声が聞こえてくる。

4 正月の硫黄尾根に向けての良いトレーニングとなった。

ルートファインディングやテント設営の時のメンバーの連携はよかった。さすがに粒の揃ったベテランメンバーだと感じた。いろいろ細かいところで勉強になるところがありました。硫黄ではよろしく願います。

塩見慶子

冬の人工登攀ルートは私にとって初めてでした。「風でアブミがひらひらして登れないぞ」などと脅され、ハケ岳の中ではグレードが高いルートなので行く前はかなり不安と緊張がありました。

登攀中は人数が多かったこと、天候も味方し、稀にみる暖かいハケ岳で、風が弱かったことなどで、登れなくて焦ったところもありましたが、ひとつひとつの行動にはゆとりが持てました。

また、ルートそのものを熟知している英明さんのおかげで迷うこともなく、核心部のアブミの架け替えは英明さんの巧みなルートワークで(はしご状にアブミを残置していただき)無事に北西稜を登ることができました。自作のアブミの出番がなかったのはちょっと残念でしたが。

今回の北西稜は自分の技量で登ったわけではない

のですが、阿弥陀の南稜下降というオマケつきで、なんともいえない充実感を味わうことができました。メンバーの皆さまには感謝の気持ちでいっぱいです。

もし、再挑戦の機会があれば、腕力をつけ、最後のアブミのルートを軽々とクリアーしてみたいものです。

長谷川泰敏(神田)

北西稜から南稜下降、疲れましたがやっまいましたね、それも我々の足跡を残して。

しかし、アプローチのブッシュの急登から始まり取り付きまでのナイフリッジ通過、ミックス壁、そして、最終ピッチの人工登攀。

ほっとしたのもつかぬ間、バリエーションルート&ながーい南稜の下降と、それは、それは、バリエーションに富んだバリエーションルート(洒落ではありませんが)で、もう満腹です。

特に2日目の登攀当日は天候も悪い中での登攀、壁から流れ落ちる粉雪を頭に被りつつ、久しぶりにおっー、雪バリやってるぜー！みたいな感じでした。

テンバも雪の状況にもよるのでしょうか、今回は皆の<ドカチンカ?>で展望の良い素晴らしいロケーションに張れてラッキー!!(あれだけピッケルのブレードを有効に活用した事はないんじゃないですかねえ・笑)

しかも、幕営装備と4-5テンフル装備、回収ランナーと回収アブミ、それに、それにザイルを背負った最終ピッチの最後の登攀はアンビリーバボー!!!力尽きて引き上げられアンラッキーでした。トホホ。。これに懲りず、またよろしく願います。(あれ?こっちの台詞か??)





12月8日(土) 晴れ/吹雪
08:00 瀧戸口-08:50 美濃戸-10:45-11:00
南沢登山道-11:20 北西稜取り付き-12:50 尾
根上テント

12月9日(日) 吹雪/曇り
06:00 尾根上テント-12:40 最終ピッチ終了 -
13:25 阿弥陀岳山頂-15:00 P3-16:00 立場
山 - 18:30 舟山十字路

<核心のピッチ>

アイゼンでエイダーの最上段
に立って、雪の付いた甘めのガ
バホールドを手袋で掴む。そし
て、一気に身を乗り出す。少し
度胸がいる。